

島根県大原郡木次町上熊谷方言のアスペクト

水谷 信明

I. はじめに

- (1) 調査対象地：大原郡木次町上熊谷は、島根県出雲地方の南部地域、通称雲南地区に位置する。県庁所在地の松江市と広島市とを結ぶ国道54号線と三刀屋町で交差する国道314号線を斐伊川沿いに3kmぐらいさかのぼったところにある。上熊谷は昭和27年まで飯石郡飯石村、昭和29年からは飯石郡三刀屋町であったが、上熊谷の中で中ノ段と正理地区とが、昭和32年に町村合併により大原郡木次町に入った。調査地の上熊谷中ノ段は以前は生業として農業・紙すき等自営業が多かったが、現在は農業を兼ねたサラリーマン家庭が大部分である。戸数65戸、人口260人ぐらい。
- (2) 調査年月日時：1993年11月13日（水谷宅）、11月14日（渡部宅）、12月11日・12日（水谷宅）、1994年1月4日（水谷宅）、1月5日（渡部宅）
- (3) 話者：水谷正吉 大正15年生（68歳）
水谷敏子 昭和3年生（65歳）
渡部武志 昭和31年生（37歳）
渡部国江 昭和元年生（67歳）
渡部早苗 昭和29年生（39歳）
- (4) 調査者・調査場所：水谷信明、いずれも話者宅（水谷正吉宅、渡部武志宅）
- (5) 調査方法・調査時の状況：調査期日までに事前に調査項目を書いた紙を渡しておきある程度考えておいてもらった上で調査に入った。調査者の郷里でもあるので、途中で私的な話も入ったりしたが、自分たちの言葉づかいについて今まで気づかなかったことを互いに再発見しながらの調査となった。
- (6) 表記方法：アクセントは、回答事象の上に――部分をつけて高く発音する箇所を示し高低の区別をする。話者の中で、渡部早苗さんは大原郡大東町久野から嫁いできて上熊谷中ノ段での生活が約10年になる。調査の検討材料として使わせてもらった。

II. 調査結果

1. (昔は) よく行ったものだね ①イキヨッタ／②イキヨッタモンダ／③イキヨッタ
(①のイキヨッタが、人によってはイキヨッタにもなる)／④イキヨッタモンダ (③と同様、イキヨッタモンダを人によってはイキヨッタモンダとも言う)／⑤イッタモンダ
2. (あのころは) おもしろかったなあ ①オモシロカリヨッタ／②オモツツカッタ
3. (もうちょっとで) 落ちるところだった ①オチートコダッタ／②オチタ方下モッタ
*②は「落ちたかと思った」という表現形式である。
4. (今にも) 落ちそうだよ ①オチカカトル／②オチカカツョル／③オチカカトー／④オチカカツョー／⑤オチーヤナ⑥オチー

* ③は①の、④は②の末尾のラ行子音が隠在化したものである。

5. (財布)を落として ①オトイテシマッテ／②オトイテ③ステテ

6. 困っている ①コマッコョー／②コマットー／③コマッコョル／④コマットル／⑤
ナンギシトー／⑥ナンギシトル／⑦ナンギシチョー／⑧ナンギシチョル

* ①は③の、②は④の、⑤は⑥の、⑦は⑧の末尾がそれぞれラ行子音の隠在化現象を起
こしたものである。

7. (一本の蠟燭が今にも)消えそうだよ ①キエカカッコョー／②キエカカットル／
③キエカカッコョル／④キエカカットー／⑤△キエサゲナ／⑥キエーヤナ／⑦キエー／
⑧ケエー／⑨△ケール

* 調査項目6と同様、①は③の、④は②の末尾がラ行子音の隠在化現象を起こしたも
のである。

8. (今)消えようとする ①キエーサナ／②キエカカッコョー／③キエカカッコョル
／④キエカカットー／⑤キエカカットル／⑥キエー／⑦キエル／⑧ケエー／⑨△ケール

* ②は③の、④は⑤の、⑥は⑦の末尾がラ行子音の隠在化現象を起こしたものである。

9. (完全に)消えた ①キエテシマッタ／②キエタ

10. (すでに)消えていたよ ①キエトッタ／②キエチヨッタ／③キエチョー／④キエ
チョル／⑤ケーチョー／⑥ケーチョル／⑦ケートー／⑧ケートル

* 「トル」と「チョル」の二つが存在し、その末尾のラ行子音が隠在化した「トー」と
「チョー」も存在している。

11. (何本もの蠟燭が順に)消え始めた ①キエダイタ

12. (何本もの蠟燭が次々)消えていくなあ ①キエテイク／②キエテシマウ／③キエ
テシマー／④キエー／⑤キエル／⑥ケー

13. (何本もの蠟燭が順に)消えているよ ①キエテイク／②キエル／③キエチョー／
④キエチョル／⑤キエトー／⑥キエトル／⑦ケーチョー／⑧ケーチョル／⑨ケートー／
⑩ケートル

* 「トル」系と「チョル」系の両方が存在している。

14. (何本もの蠟燭が全部)消えているよ ①キエチョル／②キエトル／③キエチョー
／④キエトー／⑤キエテシマットル／⑥キエテシマッコョル／⑦キエテシマットー／⑧
キエテシマッコョー／⑨キエタ

15. (何本もの蠟燭の火を次々)消しているよ ①ケシトライ／②ケシトラレイ／③ケ
シチョライ／④ケヤカイトライ／⑤ケヤカイトラレイ／⑥ケヤカイチョライ／⑦ケヤカ
イトー／⑧ケヤカイチョー／⑨ケヤカイトル／⑩ケヤカイチョル

* ①②③④⑤⑥は、尊敬の助動詞を伴っており、「消しておられる」を意味するもので
ある。「トル」系と「チョル」系の二つが存在している。また、動詞「消す」に相当す
る言葉に「ケス」と「ケヤカス」がある。

16. (もう全部) 消しているか ①ケヤカ^イダカ / ②ケヤカ^イテア^ーカ / ③ケシ^チヨラ
イカ / ④ケシ^チヨラ^{レー}カ

* ①②は、それぞれ「ケヤカシタ」、「ケヤカシテ」の「シ」の部分がイ音便化したものである。

17. (今にも桜が) 散りそうだ ①チリカ^カツトル / ②チリカ^カツト^ー / ③チリカ^カツ
チヨル / ④チリカ^カツチヨ^ー / ⑤チ^ーヤナ / ⑥チ^ーサゲナ / ⑦チリカ^ケチヨ^ー

* ⑤⑥の「チー」の部分は「チル」「チリ」のラ行子音が隠在化したものと見ることができる。

18. (ちらほらと) 散り始めた ①チリハ^ジメタ / ②チリダ^シタ / ③チリダイ^タ / ④チ
ーダイ^タ

* ②の「チリダシタ」の「シ」の部分がイ音便化したのが③であり、その③の「リ」の部分のラ行子音が隠在化して④の「チーダイタ」になる。

19. (今現に) 散っている ①チツ^チヨ^ー / ②チツ^チヨ^ル / ③チツ^ト / ④チツ^トル

20. (桜の木がすっかり) 散っている ①チツ^テシマ^ツタ / ②チツ^トル / ③チツ^トー /
④チツ^チヨ^ル / ⑤チツ^チヨ^ー / ⑥チツ^テシマ^ツチヨ^ル / ⑦チツ^テシマ^ツチヨ^ー / ⑧チツ
テシマ^ツトル / ⑨チツ^テシマ^ツト^ー / ⑩チツ^タ

21. (地面一面に) 散っている ①チツ^チヨ^ル / ②チツ^チヨ^ー / ③チツ^トル / ④チツ^ト
ー

22. 今にも降りそうだ ①フツ^テグル / ②フツ^テグ^ー / ③フリ^ツーナ / ④フ^ーヤナ / ⑤
フ^ーサゲナ / ⑥フ^ー

* ④⑥と⑤の「フー」の部分はそれぞれ「フル」「フリ」のラ行子音が、②は①の末尾のラ行子音が隠在化したものである。

23. (あの時は今にも雨が) 降りそうだったなあ ①フ^ーヤナ^ツタ / ②フ^ーサゲ^ナツ^タ

24. (あの時はもう実際に雨が) 降っていたよ ①フツ^トツ^タ / ②フツ^チヨ^ツタ

25. (あの時はやがて夜が) 明けようとしていたよ ①アケ^カカ^ツツ^タ / ②アケ^カケ
ト^ツタ / ③アケ^カカ^ツチヨ^ツタ / ④アケ^カケ^チヨ^ツタ

* 「アケカカル」と「アケカケル」、「トツタ」と「チヨツタ」の併存が見てとれる。

26. (来年の今ごろは家を) 建てている (最中) ①タ^テカ^ケチヨ^ー / ②タ^テチヨ^ー /
③タ^テカ^ケト^ー / ④タ^テト^ー / ⑤タ^テカ^ケチヨ^ル / ⑥タ^テチヨ^ル / ⑦タ^テチヨ^ート^コ /
⑧タ^テチヨ^ルト^コ / ⑨タ^テト^ート^コ / ⑩タ^テト^ルト^コ

* ⑦⑧⑨⑩に出てくる「トコ」は「トコロ」のラ行子音が隠在化し「トコー」となり、それが短くなったものと考えられる。

27. (来年の今ごろは家をすでに) 建てている ①モ^ー タ^テトル / ②モ^ー タ^テト^ー
 / ③モ^ー タ^テチヨ^ー / ④モ^ー タ^テチヨ^ル / ⑤モ^ー タ^ツチヨ^ー / ⑥モ^ー タ^ツト^ー
 / ⑦モ^ー タ^ツトル / ⑧タ^ツチヨ^ー

* (家を) 「タテル」系と(家が) 「タツ」系の二つのものがある。調査項目「26. (

来年の今ごろは家を) 建てている (最中)」との区別を「モー」という言葉を入れることにより、あるいは、26を「タテチョー」、27を「タッチョー」と表現することにより行っている。

28. (あの家はよく) 磨いてある ①ミガイテアル／②ミガイテアー／③チャントシチョー／④チャントシチョル／⑤チャントシトー／⑥チャントシトル

29. (隣の犬が) 鳴いている ①ホエチョー／②ホエチョル／③ホエトル／④ホエトー／⑤ナク (大きな声で鳴くのは「ホエル」で、小さな声の場合は「ナク」。)

30. (隣の子が) 泣いている ①ナイチョー／②ナイチョル／③ナイトル／④ナイトー／⑤ホエチョー／⑥ホエチョル／⑦ホエトル／⑧ホエトー／⑨ホエチョライ／⑩ホエチョラレー／⑪ホエトライ／⑫ホエトラレー

* 現在は「ナク」と「ホエル」の両方を使っているが、以前は「ホエル」だけであった。中年層ぐらいから下の世代で「ナク」の表現が多くなる。⑨⑩⑫は、他の家の子であるから「泣いておられる」意味で末尾に尊敬の助動詞が入っている。

31. (こどもたちが) 喧嘩している ①ケンカシトル／②ケンカシトー／③ケンカシチョー／④ケンカシチョル

32. (家に) いるかなあ ①オルカナー／②オーカナー／③オルカイナー／④オーカイナー／⑤オライダラカ／⑥オライカナ

* ⑤⑥には尊敬の助動詞が入っており、「おられるかな」の意味である。

33. (〇〇さん) いるか ①オラレーカネ／②オーカネ／③オーカ／④オライ

* ①④には尊敬の助動詞が入っている。④は①の「オラレー」のラ行子音が隠在化した形である。①④から②③という順序に従って敬意度が下がってくる。

34. (ああ) いるよ ①オルヨ／②オーヨ／③オーマスヨ／④オーマスジ

* 「オル」よりも、丁寧の助動詞「マス」をつけた方が丁寧度は当然高くなる。

35. (そういう人も) いるよ ①オラレル／②オラレー／③オライ／④アー／⑤アル／⑥オー／⑦オル

* 「アル」系と「オル」系が共存している。①の尊敬の助動詞「レル」の末尾のラ行子音が隠在化現象を起こし②の「オラレー」になり、さらにラ行子音の隠在化が進んだのが③の「オライ」である。

36. (あなたは今何を) していたか ①シトッタ／②シチョッタ

37. (私は今金魚を) 見ていたよ ①ミトッタ／②ミチョッタ

38. (金魚が今にも) 死にそうだ ①シニカカトル／②シニカカトー／③シニカカッチョー／④シニカカッチョル／⑤シニーヤナ／⑥シンヤナ／⑦シンデシマーヤナ

39. (やっぱり金魚は) 死んでいたよ ①シンドッタ／②シンデシマッタ／③シンデシマツッタ／④シンデシマツチョッタ／⑤シンジョッタ／⑥シンジョー／⑦シンドー

40. 読み始めていた ①ヨミカケチョッタ／②ヨンカケチョッタ／③ヨミカケトッタ／

④ ヨンカケトッタ／⑤ ヨミダイタトコ／⑥ ヨンダイタトコ（「ヨミダイタ」は文字に入った状態、「ヨミカカタ」はまだ文字に入らず内容がつかめていない状態を言う。）

41. 読み始めたところへ（～た） ① ヨミカカタトコエ／② ヨンカカタトコエ／③ ヨミダイタトコエ／④ ヨンダイタトコエ／⑤ ヨミカケタトコエ／⑥ ヨンカケタトコエ／⑦ ヨンジョッタトコエ

42. 着くと同時に～した ① ツキシナニ／② ツイタトタンニ

43. 着くと同時に～してくれ ① ツイタラジキニ／② ツイタラスグ／③ チータラスグ

44. 鳴りつづけている ① ナリップナシ／② ヤッパナッチョー／③ ヤッパナットー／④ ナリチジケチョー／⑤ ナリチジケトー

* ②③の「ヤッパ」は、「やはり、相変わらず」の意味の「ヤッパリ」の末尾のラ行子音が隠在化したものと考えられる。

45. （先生は今何を）しているか ① シトラレマスカ／② シトライマスカ／③ シチョライマスカ／④ シトーナハマスカ／⑤ シチョーナハマスカ

* 「レル・ラレル」系や「ナハル」などの尊敬の助動詞を入れることによって敬意を示している。

46. 好きだ ① スキダ／② スイトル／③ スイトー／④ スイチョル／⑤ スイチョー

47. 見られているのも ① ミラレトルノモ／② ミラレトーノモ／③ ミラレチョルノモ／④ ミラレチョーノモ／⑤ ミラレチョートモ／⑥ ミラレチョーコトモ／⑦ ミラレトーコトモ／⑧ ミチョライノモ／⑨ ミチョーノモ／⑩ ミトーノモ

* ⑨⑩と⑧は、「見ているのも」あるいは「見ておられるのも」の意味のものである。

48. （今、運動会が）ある ①（を）ヤットル／②（を）ヤットー／③（を）ヤッチョル／④（を）ヤッチョー／⑤（を）シチョー／⑥（を）シチョル／⑦（を）シトー／⑧（を）シトル

49. （降らなくて）よかったよ ① ヨカッタ／② エカッタ／③ ヨロコンドル／④ ヨロコンドー／⑤ ヨロコジョル／⑥ ヨロコジョー／⑦ フランデコサレ／⑧ フランデコサイ
* ⑦⑧は古語的表現の係り結び「コソ～アレ」の縮まった形が「コサレ」、その「コサレ」が音便化（あるいはラ行子音が隠在化）したものが「コサイ」であろう。

50. （先生がこっちへ）来つつある ① コラレル／② コラレー／③ コライ／④ キナハル／⑤ キナハー／⑥ △ゴダッシャル／⑦ △ゴダッシャー

* ①②③については、尊敬の助動詞のラ行子音の隠在化が①から②、③となるにしたがって進む。ラ行子音の隠在化については、④の隠在化が⑤であり、⑥の隠在化が⑦になる。⑥⑦の「ゴダッシャル」という言い方は、古老が使うことがあるが、老年層以下の年代で使う人は全くと言っていいほどない。

51. （犬がこっちへ）来つつある ① クル／② クー／③ クルトコ／④ クートコ

* 「クー」は「クル」の、「トコ」は「トコロ」のラ行子音が隠在化したものと言える。

52. 似ている ①ニチョー／②ニチョル／③ニトー／④ニトル

* 「チョル」系と「トル」系の二つになる。

53. (一週間も前から遊びに) 来ている ①キチョー／②キチョル／③キトー／④キトル

54. (昔から) 苦勞していない ①クローシトラン／②クローシチョラン／③クローシ
ラズ／④クローオシラン

* 「苦勞をしていない」系と「苦勞を知らない」系とに分けられる。

55. (今はあまり) 苦勞しないでいる ①クローシチョラン／②クローシトラン／③ク
ローシチョラレン／④クローシトラレン

* 調査項目54と対比すると、54と55との両方に「クローシチョラン」「クローシトラン」は出てくる。それに対し、「苦勞を知らない」系の「クローシラズ」「クローオシラン」は、「(昔から) 苦勞をしていない」という意味に限定して使われている。③④は他人を言う場合であり、尊敬の助動詞が入って「苦勞しておられない」の意味になっている。

56. ～は売っているが、～は売っていない ①～ワウツトーガ、～ワウツチョラン／②
～ワウツチョーガ、～ワウツチョラン／③～ワウツトーガ、～ワウツトラン／④～ワウ
ツチョーガ、～ワウツトラン／⑤～ワウツトーダドモ、～ワウツチョラン／⑥～ワウ
ツチョーダドモ、～ワウツチョラン／⑦～ワウツトーダドモ、～ワウツトラン／⑧～ワウ
ツチョーダドモ、～ワウツトラン／⑨～ワウツチョライガ、～ワウツチョラレン／⑩～
ワウツトライガ、～ワウツトラレン／⑪～ワウツトーダモン、～ワウツチョラン

* 逆接の接続助詞としては「ダモン」といった表現もあり、⑩は①の接続助詞の「ガ」の部分「ダモン」に置き換えたものと見ることができる。⑨⑩は調査項目55と同様、他の人のことを言うことから、尊敬の助動詞が入っている。

57. (昔からタバコを) 売っている ①ウツトル／②ウツトー／③ウツチョル／④ウツ
チョー／⑤ウツチョライ

* ⑤は、他の人のことを言うので尊敬の助動詞が入り、「売っておられる」の形になったものである。

58. (今、大売り出しで衣料品を) 売っている ①ウツトル／②ウツトー／③ウツチョ
ル／④ウツチョー／⑤ウツチョライ／⑥ウツチョラレー／⑦ウツチョラレル／⑧ウツ
トライ／⑨ウツトラレー／⑩ウツトラレル

* ①②③④は「売っている」系であり、⑤⑥⑦⑧⑨⑩は尊敬の助動詞が入り「売っておられる」系の形になっている。

59. (もう三回) 来ている ①キトル／②キトー／③キチョル／④キチョー／⑤キタコ
トガアル／⑥キタコトガアー

* ①③⑤の末尾のラ行子音が隠在化したものが、それぞれ②④⑥ということになる。

60. (いつも) 来ている ①キトル (「いつも」の意味あいをはっきり示す必要のある

時は「イツモ キトル」「エツイキ キトル」のように別の言葉を添える。) / ②キト
ー / ③キチヨル / ④キチョー

61. (昔はいつも) 来ていた ①キトツタ / ②キチヨッタ
62. (前に一度) 行っている ①イットル / ②イットー / ③イッチヨル / ④イッチョー
 / ⑤イッタコトガアル / ⑥イッタコトガアー / ⑦イッタコトアー / ⑧イッタコトアル
63. 先に行っておいてほしい ①イキチヨッテ / ②イッチヨッテ / ③イキトッテ / ④イ
ットッテ / ⑤イットッテゴシナハイ / ⑥イッチヨッテゴシナハイ / ⑦イットッテゴセ /
⑧イッチヨッテゴセ

* 友達など親しい間柄では「～してくれ」といった感じで男性的な表現「～ゴセ」も使
われるが、丁寧さを示そうとすれば尊敬の助動詞「ナハル」の命令形「ナハイ」を後に
つけ、「～ゴシナハイ」となる。

64. 待っていないさい ①マツトッテ / ②マツチョッテ / ③マツチョーダウ / ④マツトー
ダウ / ⑤マツトーナサイ / ⑥マツトーナハイ / ⑦マツチョーナサイ / ⑧マツチョーナハ
イ / ⑨マツトレ / ⑩マツチョレ / ⑪マツチョケ / ⑫マツトケ

* ⑨⑩⑪⑫以外は命令形になっているものでも、その中に何らかの丁寧さを感じられる
ものである。

65. (外に) 待たせてあるよ ①マタセトル / ②マタセトー / ③マタセチヨル / ④マタ
セチョー

66. 食べておいておくれ ①タベチョッテ / ②タベトッテ / ③タベトッテゴセ / ④タベ
チョッテゴセ

* 「～(して) おくれ」の意味を出すのに「ゴス」の命令形「ゴセ」が出てくるが、現
在、子供を育てている母親の口から出てくることは少なくなっている。

67. (昔と) 違っている ①チガツチョー / ②チガツチヨル / ③チガットー / ④チガッ
トル / ⑤チガー

68. (昔は今のと) 違っていた ①チガツチヨッタ / ②チガットッタ

69. (毎日梅干しを) 食べている ①タベチョー / ②タベチヨル / ③タベトー / ④タベ
トル / ⑤クッチョー / ⑥クッチヨル / ⑦クットー / ⑧クットル

* 「タベル」と「クー」、「チヨル」系と「トル」系の併存が見てとれる。

70. (毎朝) している ①シトル / ②シトー / ③シチョー / ④シチヨル

71. 気をつけていて(～した) ①キーツケトッテ / ②キーツケチヨッテ

72. 行ったまま～ ①イキタキリ / ②イッタキリ / ③イキタギリ / ④イッタギー / ⑤イ
ッタマンマ

* ①「イキタキリ」が音便化したものが②の「イッタキリ」である。「～キリ」の部分
は濁って「～ギリ」にもなり、さらにラ行子音が隠在化して「～ギー」ともなっている。

73. ～しながら ①シナガラ / ②シナガー / ③シーシー / ④シージ

74. ～の途中で～する ①イキガケニ／②イキシニ
75. ～の途中で～した ①イクトキニ／②エクトチーデ／③イキシニ／④イキガケニ
76. ～の途中で止めて～した ①ヨミカケテ／②ヨンカケテ／③ヨミカケトイテ／④ヨ
ンカケトイテ／⑤ヨミカケテ／⑥ヨンカケテ
- * 「～テ」と続いていくのは「ヨミカケル」系の動詞、「～デ」と続いていくのは「ヨ
ミカケ」系の動詞連用形転成名詞と見ることができる。
77. ～したばかりだ ①ヨンダバッカシ／②ヨンダバッカリ／③ヨンダバッカー／④ヨ
ンダバッカ／⑤ヨンダトコ
78. 無くなっている ①ミエン／②ナクナツトル／③ナクナツトー／④ナーナツ Chol
／⑤ナーナツヨー／⑥ナーナツトル／⑦ナーナツトー／⑧ミエンヤンナッタ
- * 「無くなっている」「見えない」「見えないようになった」という表現形式がある。
79. 無くなるぞ ①ナクナツテシマウ／②ナーナツテシマウ／③ナクナー／④ナーナー
／⑤ナイヤンナツテシマウ／⑥ナイヤンナツテシマー
- * 「無くなる」「無くなってしまふ」「無いようになってしまふ」系の表現形式になっ
ている。「無くなる」が「ナーナー」となる点が発音の上で特徴的である。
80. 掛けておいた帽子 ①カケ下イタ／②カケ子ヨイタ／③カケ子ヨッタ／④カケトッ
タ
81. 並んだ本 ①ナランドル／②ナランドー／③ナランジョル／④ナランジョー
82. 並べた本 ①ナランドル／②ナランドー／③ナランジョー／④ナランジョル／⑤ナ
ラベテアル／⑥ナラベテアー／⑦ナラベライタ／⑧ナラベトイタ（自分が並べたもので
あれば「ナラベトイタ」、他の人の手によって並べられたものであれば⑦「ナラベライ
タ」となる。）
83. ～しておこうか ①ヨンドクカ／②ヨンドカカ／③ヨンデシマツトクカ／④ヨンデ
シマツトカカ／⑤ヨンジョクカ／⑥ヨンジョコーカ
- * ①⑤が「読んでおくか」系であり、②⑥が「読んでおこうか」系、③と④がそれぞれ
「読んでしまっておくか」「読んでしまっておこうか」の表現形式ということになる。
84. やってあるか ①スダカ／②ヤッタカ／③ヤッテアーカ／④シテアーカ
85. 壊している ①メイドル／②メイドー／③メードル／④メードー／⑤メイジョル／
⑥メイジョー／⑦メージョル／⑧メージョー／⑨コワイ Chol／⑩コワイ Chōー／⑪コ
ワシ Chol／⑫コワシ Chōー／⑬コワシトル／⑭コワシトー
- * 「壊す」の意味で「メグ」と「コウス」の二つが使われている。「メグ」の場合は「ド
ル」「ドー」「ジョル」「ジョー」に続き、「コウス」の場合は清音で「トル」「トー」
「 Chol」「 Chōー」に続いている。
86. 壊れている ①メゲ Chōー／②メゲ Chol／③メゲトー／④メゲトル／⑤コワレ Chō
ー／⑥コワレ Chol／⑦コワレトー／⑧コワレトル

* 「壊れる」の意味で「メゲル」と「コワレル」の二つの語が用いられている。

87. 壊されている ①メゲトル／②メゲトー／③メゲチョル／④メゲチャー／⑤コワサレチャー／⑥コワサレチョル／⑦コワサイチャー／⑧コワサイチョル／⑨コワサレトー／⑩コワサレトル／⑪コワサイトー／⑫メガイタ

* ①②③④は、「メゲている——壊れている」状態を表現することで「壊されている」ことを示す形になっている。

88. のけてある ①トツテアル／②トツテアー／③ホカニヤッチョー／④ホカニヤッチョル／⑤ハネテアル／⑥ハネテアー／⑦ドケチャー／⑧ドケチョル／⑨ドケトー／⑩ドケトル

89. 書き終わった ①カキアゲタ／②カイテシマッタ／③ジエンブカイタ／④カテタ

90. 書いてしまいなさい ①カイテシマエ／②カイテシマイナサイ／③ワイテシマイナハイ／④カイテシマダウ

* ①よりも尊敬の助動詞「ナサイ」「ナハイ」がついた②③の方が、丁寧度が増した表現ということになる。②と③とを比較すると「ナサイ」は共通語にもつながるもので、「ナハイ」より若い世代が用いやすい表現と言える。④も女性的なやさしい表現である。

91. 書いてしまう ①カイテシマウ／②カイテシマー

92. 書いてみた ①カイテミタ

93. (孫は今)入院している ①ニューインシトル／②ニューインシトー／③ニューインシチョル／④ニューインシチャー

94. (弟も今)入院しているようだ ①ニューインシトーラシー／②ニューインシトルラシー／③ニューインシチャーラシー／④ニューインシチョルラシー／⑤ニューインシトーゲナ／⑥ニューインシチャーゲナ／⑦ニューインシチャート／⑧ニューインシトー

95. (きっと)よくなるよ ①ナオル／②ヨンナル／③ヨンナー／④ヨナー／⑤ヨナナル

* ②「ヨンナル」と⑤「ヨナナル」は「ヨクナル」が音便化したものであり、末尾のラ行子音が隠在化したものが、それぞれ③「ヨンナー」、④「ヨナー」である。

96. (だんだん)よくなるよ ①ヨンナル／②ヨンナー／③ナオル／④ヨナー

* 調査項目95にも共通するが、他人の立場に立つ場合、当方言内では「～テイク」あるいは「～テクル」の形は見出しにくい。

97. 歳とるとね ①トシトツテクルト／②トシトツテクート／③トシトート／④トシトルト

98. なおらなくなるよ ①ナオランヤンナツテクル／②ナオランヤンナツテクー／③ナオランヤンナル／④ナオランヤンナー／⑤ナオリニクンナル／⑥ナオリニクンナー

* 調査項目97にも共通するが、自分の立場の説明には「～(テ)クル」の表現形式も入

ってくる。

99. (1) (犬が) 怪我したので ①ケガシタケン / ②ケガシテシマッテ
(2) (こどもが) 怪我したので ①ケガシタケン / ②ケガシテシマッテ
(3) (お父さんが) 怪我したので ①ケガシタケン / ②ケガサイタケン
* (3) の①と②とでは②の方が尊敬の助動詞が入っている分、敬意が高くなる。
(4) (雨が) 降ってきたので ①フツテキタケン / ②フーダイタケン

* ②は「降り出したから」という表現形式である。

100. (1) 雨が降りつつある ①C「すでに盛んに降り続けている、降っている最中である。 / ②B「今、ぽつぽつ降り始めた」
(2) 貯金が増えつつある ①A「貯金が少しずつ増えようとしている」
(3) 貯金を増やしつつある ①C「すでに現にかなり増やしている最中」 / ②A「増やそうと計画している段階」

* この調査項目については、出雲地方の人が「～つつ」といった表現は使い慣れておらず、厳密な区別はむずかしいように思う。個人差が大きく地域的特徴は出しにくい。

III. 総括(まとめ)

1. 発音上の特徴として、ラ行子音が隠在化しやすいことが挙げられる。
2. 「～ている」に関しては「～ Chol」と「～トル」(ラ行子音が隠在化した「～チョー」「～トー」も含む)とが共存している。使用に関して年齢差や性別などによる使い分けは認められない。完了・過去を示す場合には、「～チョッタ」「～トッタ」となる。「～トル」「～Chol」が濁る場合は、調査項目「39. (やっぱり金魚は) 死んでいたよ」の回答にあるように「～ドル」「～ジョル」となる。「～トル」「～Chol」が「～トー」「～チョー」となるのと同様、ラ行子音の隠在化現象で「～ドー」「～ジョー」ともなる。
3. 調査項目「5. (財布を) 落として」の回答にあるように「オトシテ」が「オトイテ」になる。調査項目「11. (何本もの蠟燭が順に) 消え始めた」でも「キエダシタ」が「キエダイタ」という形になっている。「シ」の部分がい音便化しやすいと言える。
4. 調査項目「15. 消しているよ」の回答①②③④⑤⑥や調査項目「32. (家に) いるかなあ」の回答⑤⑥などに見られるように、他の人のことを言う場合に「レル・ラレル」系の尊敬の助動詞が付きやすいことが当方言の一つの特徴である。
5. 調査項目「49. (降らなくて) よかったよ」の回答⑦⑧に出てきたように、否定的あるいは心配・気がかりな内容に関係して、古文で言う「係り結び」が当方言に残存しており、「～コサレ」「～コサイ」の形で出てくる。

(みずたにのぶあき 島根県立吉賀高等学校)